

メルコグループ

Business Report 2020

2019.4.1 — 2020.3.31



ステークホルダーの皆様へ

To Our Stakeholders

新型コロナウイルス感染症の拡大により被害を受けられた方々とご家族様、関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また医療従事者はじめ感染症の拡大防止にご尽力されている皆様に深謝申し上げます。

2020年にメルコグループは創業45周年を迎えました。また、2018年に逝去した創業者牧誠の三回忌を無事に執り行うことができましたのも、皆様の変わらぬご支援のおかげと厚く御礼申し上げます。

2020年3月期は“勝負の年”と位置づけ、人口減少や超高齢化時代においても社会から必要とされる企業となるべく社内改革を推し進めてまいりました。また、“価値の連鎖”をコンセプトに事業構造の変革が完了した一年でございました。

2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の拡大が世界経済に与える影響により、経済活動はもとより社会活動そのものが大きな変化を迫られております。例をみない苦難に直面する中で、当社は創業者の理念に鑑み、政府の要請を真摯に受け止めテレワーク拡大に取り組みました。今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止と業務合理化を進めながら、お客様の社会生活の変化をIT・食品・金融の3本の矢でグループ一丸となって支えてゆけるよう精進してゆく所存です。何卒ご高承のうえ今後ともご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2020年6月



株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長

牧 寛之

メルコバリュー

千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び、活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します。

顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

永続的な成長といかなる外的環境の変化にも耐えうる 強固な事業ポートフォリオ構築を推進

新型コロナウイルス感染症の影響により 経済情勢はさらに先行き不透明に

当期の日本経済は、先行き不透明な状況が続く中でも個人消費は緩やかな回復基調にありましたが、年明け以降は新型コロナウイルス感染症の拡大が世界経済に与える影響により、さらに不透明な状況が続いております。

デジタル家電業界においては、パソコン市場は基本ソフトのサポート保守終了需要により好調に推移、薄型テレビ市場は買い替えと消費税増税前の駆け込み需要により好調に推移し増税後も反動は少なく安定しました。一巡感が見えていたスマートフォン・タブレット市場は、タブレット市場で好調に転じましたが、周辺機器市場においては競争の激化により低価格化が進みました。

一方、生めん業界では、家庭用市場は商品価格改定の影響や新型コロナウイルス感染症拡大防止による家庭内食機会の拡大などもあり微増しました。業務用市場は人手不足を背景にした需要があるものの、消費税に加えて働き方改革による外食の営業時間短縮などが影響を及ぼし前年並みに推移しました。

市場競争に打ち勝つ 付加価値の高い商品・サービスを提供

IT関連事業においては、競争が激化する周辺機器市場に対応するため、家庭用Wi-Fi^{※1} 6ルーターとして世界初^{※2}の認定を受けた「AirStation」を発売するなど、高付加価値商品の拡販に努めました。サービス分野では「バッファロー正規データ復旧サービス」のメニュー追加、新横浜への復旧センター開設などサービスを拡充しました。一方、食品事業においては、「健美麺」ブランドとしてチルド麺市場初^{※3}となる食後の血糖値上昇を抑える機能性表示食品を発売するなど、健康・簡便・個食志向に対応した商品の販売強化を図り、「流水麺」「健美麺」や業務用冷凍麺の売上拡大に努めました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,148億88百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益41億37百万円(同30.6%減)、経常利益49億14百万円(同24.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益31億39百万円(同17.4%減)となりました。

※1 Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

※2 2019年10月5日(認定取得日)時点、弊社調べ。

※3 2019年5月、弊社調べ。

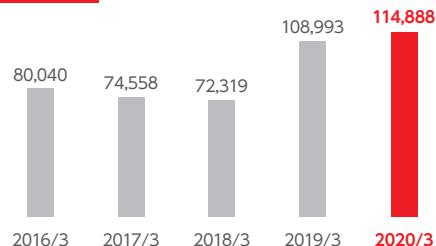
売上伸長に頼らず

利益を生み出す経営を継続して推進

IT関連事業を取り巻く環境は以前厳しい状況が続いており、食品事業においては原材料価格・エネルギーコストの高騰や人手不足などの課題が顕在化しております。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による国内外の景気や企業活動など先行きに対する懸念があります。

こうした状況下で、売上伸長に頼らずとも利益を生み出せる経営を推し進めるため、IT関連事業においては引き続き「アパートWi-Fi」の導入戸数拡大、「バッファロー正規データ復旧サービス」の受付件数拡大に努めてまいります。食品事業では成長市場である業務用冷凍麺の量的拡大、「流水麺」「健美麺」などの高付加価値商品の拡大に努めてまいります。また、サプライチェーンの強靱化、ロスコスト削減、サービス拠点の拡充と合理化及び事業の拡大のためのM&Aなどを積極的かつ迅速に行ってまいります。さらにグループ資産を全社的見地に立って有効活用することで、課題解決に取り組んでまいります。

連結売上高 (単位：百万円)



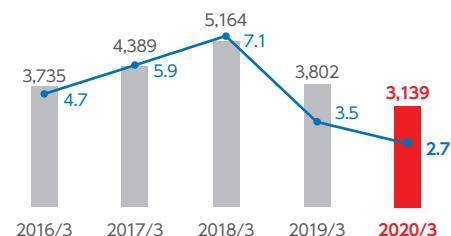
連結経常利益 (単位：百万円)

連結売上高経常利益率 (単位：%)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

連結売上高当期純利益率 (単位：%)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



お客様の社会生活の変化をIT・食品・金融の3事業体制で メルコグループ一丸となってサポートします

IT関連

Wi-Fiをはじめとするネットワーク製品、パソコン・テレビ録画用外付けハードディスクやネットワークによる遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ製品など、デジタル家電やパソコン周辺機器を中心にさまざまな製品を提供しています。ほかにも、デジタルフォトアルバム「おもいでばこ」、ハイレゾ音源専用デジタルミュージックライブラリーなど日常に豊かさを提案する製品も取り扱っています。さらに、賃貸集合住宅向けの「アパートWi-Fi」のほか、ストレージ製品のデータ復旧サービス、リモート管理サービス「キキNavi」など、個人・法人を対象にさまざまなサービスやソリューションを提供しております。



Wi-Fiルーター



法人向けアクセスポイント



外付けハードディスク



法人向けNAS



デジタルミュージックライブラリー



おもいでばこ



キキNavi

キキNavi



アパートWi-Fi



データ復旧サービス

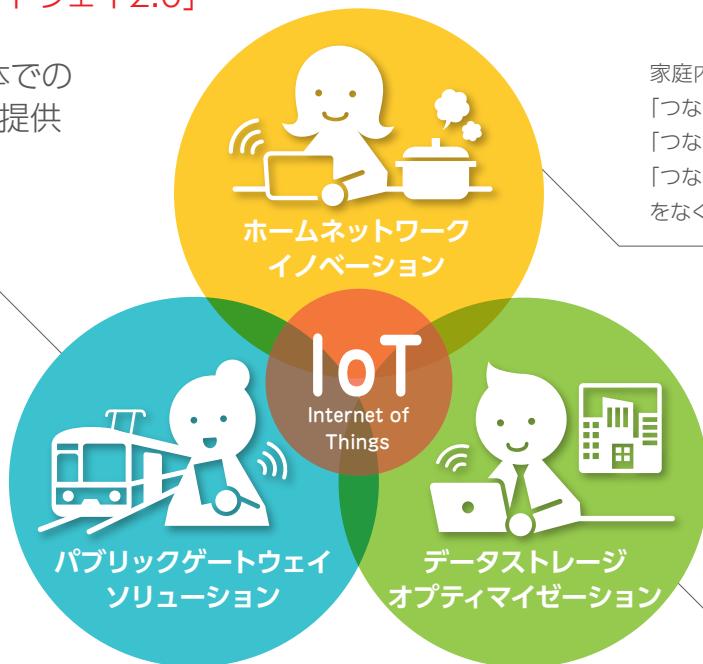
IT関連

中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

モノのインターネット

IoT時代の社会全体での
安心ネットワークを提供

パブリックスペースで
Wi-Fiに
「つながらない」
「つながるのが面倒」
「つながるのが怖い」
をなくす



家庭内でWi-Fiが
「つながらない」
「つなげられない」
「つながらなくなった」
をなくす

大事なデータが
「消失した」
「消失が怖い」
「再生できない」
「使えるが遅い」をなくす



BCN AWARD
2020 (2019年1月～12月)

10部門受賞

全国大手家電量販店の実売データ集計に
基づくAWARDです。

※1 メルコグループとして、CFD販売としては9年連続9回目。

※2 メルコグループとして、CFD販売としては11年連続11回目。

無線LAN
部門

18年連続
18回目



NAS
部門

7年連続
7回目



HUB部門

19年連続
20回目



LANカード
部門

21年連続
21回目



外付けHDD
部門

12年連続
17回目



ルーター
部門

17年連続
18回目



■メモリ部門

11年連続 19回目^(※1)

■拡張インターフェース部門

17年連続 17回目^(※2)

■PC電源部門

9年連続 9回目

■ドライブケース部門

10年連続 12回目

食品

ゆでずらい水でほぐすだけで食べられる「流水麺」や、2019年秋発売の健康価値商品「健美麺」をはじめ、うどん・そば・中華麺・焼そば・パスタなどバラエティ豊かな商品を提供しています。家庭用商品はチルド麺、冷凍麺、業務用商品は冷凍麺を中心に展開しています。素材としての麺だけではなく、魅力ある「麺料理メニュー」や新しい「麺の食べ方」など、常にお客様の視点に立った商品作りにより、麺市場の新たな可能性を創造しています。



「健美麺」
食後の血糖値上昇を抑える
うどん



「健美麺」
食後の血糖値上昇を抑える
そば



冷凍「健美麺」
食後の血糖値上昇を抑える
稲庭風細うどん



「流水麺」
そば 2人前



「流水麺」
冷し中華 醤油味 2食



北海道産そば使用
石臼挽きそば

開発基本キーワード「3K」



金融

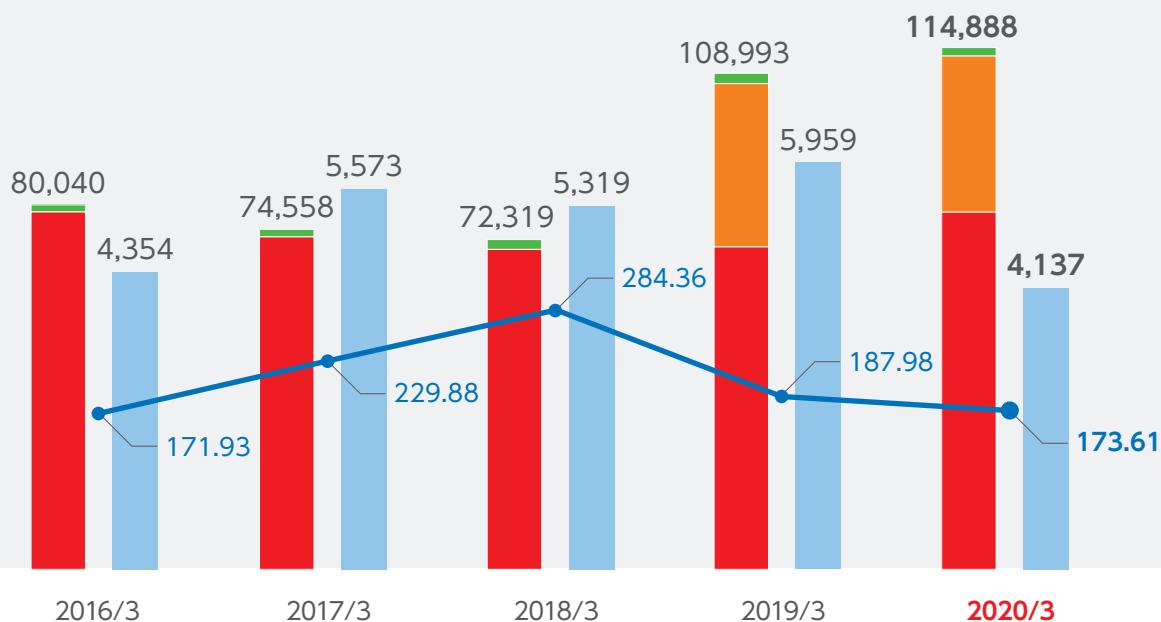
投資運用業や金融商品仲介業などの事業を通じて、メルコグループの収益安定化に寄与しています。

連結売上高 (単位：百万円)

連結営業利益 (単位：百万円)

1株当たり純利益 (単位：百万円)

■ IT関連 ■ 食品 ■ 金融



■ IT関連

78,488

73,009

70,210

70,783

78,557

■ 食品

—

—

—

35,900

34,690

■ 金融

1,550

1,547

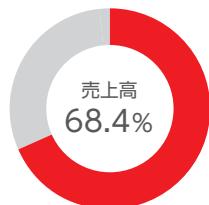
2,107

2,306

1,640

事業別連結売上高・セグメント利益

IT関連

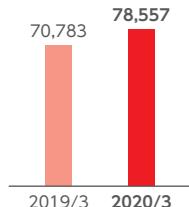


売上高

78,557 百万円

前期比 11.0%増 ▲

(単位:百万円)

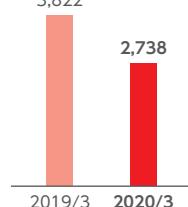


セグメント利益

2,738 百万円

前期比 28.3%減 ▼

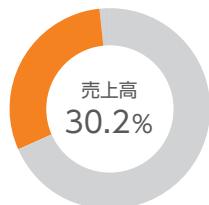
(単位:百万円)



法人向け市場ではリモート管理サービス「キキNavi」におけるサポートレベルの向上・効率化を推し進めました。一方、個人向け市場では家庭用Wi-Fi6ルーターとして世界初*の認定を受けた「AirStation」を発売するなど、高付加価値商品の拡販に努めました。また、テレワークに必要なWEBカメラやヘッドセット、Wi-Fi関連商品などの需要増がありました。しかしながら、市場の競争激化で販売台数は前年を超えたものの利益は減少しました。サービス分野では「バッファロー正規データ復旧サービス」における新メニューの追加、復旧センター開設など、サービス拡充を図りました。その結果、売上高78億57百万円(前年同期比11.0%増)、セグメント利益27億38百万円(同28.3%減)となりました。

※2019年10月5日(認定取得日)時点、弊社調べ

食品

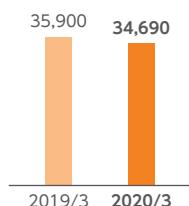


売上高

34,690 百万円

前期比 3.4%減 ▼

(単位:百万円)

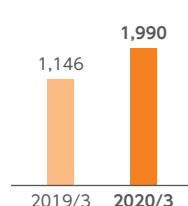


セグメント利益

1,990 百万円

前期比 73.6%増 ▲

(単位:百万円)



販売面では家庭用は季節商品の伸び悩みと不採算商品の見直しにより減少した一方で、「健美麺」ブランドとしてチルド麺市場初*となる食後の血糖値上昇を抑える機能性表示食品を発売するなど販売強化に努めました。業務用は外食を中心に学校・事業所給食などへの取り組み強化によって堅調に推移しました。利益面では商品価格改定や不採算商品の見直し、経費削減などの効果があらわれました。その結果、売上高346億90百万円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益19億90百万円(同73.6%増)となりました。

※2019年5月、弊社調べ

金融

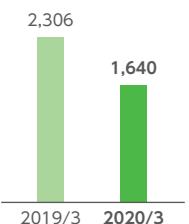


売上高

1,640 百万円

前期比 28.9%減 ▼

(単位:百万円)

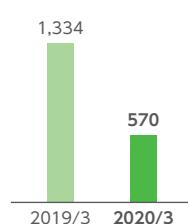


セグメント利益

570 百万円

前期比 57.3%減 ▼

(単位:百万円)



難しい運用環境が続き、売上高16億40百万円(前年同期比28.9%減)、セグメント利益5億70百万円(同57.3%減)となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

テレワーク拡大と
遠隔会議システム利用を促進

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みとして2020年2月から対面や閉鎖空間での人との接触を避けることを基本方針とし、オフィス内及び通勤時の感染防止のための手洗い、咳エチケットなど基本的な感染予防策の徹底はもとより、不要不急の会議や出張の抑制に努めテレワークを推進してまいりました。

4月以降は政府の「緊急事態宣言」発令に伴い、指定地域における「人と人との接触を最低70%、できる限り80%減らす」という政府の方針に全面的に協力する基本指針を策定し、テレワークの拡大、オフィス内での分散勤務、遠隔会議システムの利用など業務継続を確保するための対策を実施いたしました。

当社グループ社員のテレワークにおける経験は、テレワーク関連商品の開発へ活かすことができると考えており、お客様のテレワーク環境を今後もサポートしてまいります。



情報システム担当者の働き方改革と人手不足を解消

機器の保守管理負担を軽減する
サービスを提供

2020年3月期は情報システム担当者の働き方改革と人手不足を解消することをコンセプトに、インターネットを経由して遠隔地に設置した機器と管理者をつなぐバッファローのリモート管理サービス「キキNavi」を提供開始いたしました。

「キキNavi」は法人向けWi-Fi関連商品「AirStation Pro」や大容量NAS「TeraStation」を対象に無料提供し、対象商品を管理する保守・管理会社（Sler）及び自社で管理を行う法人ユーザーは対応機器の状態を遠隔監視でき、障害発生の際には直ちに通知を受けられます。また、メンテナンスに係る簡易的な操作を遠隔で行えることにより、今までは現場でしかできなかったいくつかの作業をインターネット経由で可能となり、作業工数の削減や迅速な障害対応を実現することをご提案しております。



ハードディスク廃棄時の情報漏洩を防止

磁気消去装置に加え 物理破壊装置もラインナップ

自治体や法人からの個人情報データ流出事故が後を絶たない中、個人情報データを保存してあるハードディスクを廃棄する際、社外の業者などに委託することなく自前でハードディスクを破壊しデータ消去を完結できる装置を当社子会社であるアドバンスデザインで提案しております。2019年末に個人情報データ流出事故がニュースで取り上げられた影響もありお客様からの問い合わせが増加した年となりました。従来から販売している磁気データ消去装置シリーズ「MagWiper」は米国国家安全保障局(NSA) 評価認定モデルもラインナップし簡単な操作で磁気によるデータ消去を実現しており、2020年1月には目で見て安心を得られる物理破壊によるデータ消去を実現する新シリーズ「StorageCrusher」を販売開始、多様なお客様のニーズに応えパソコンやハードディスク・SSD廃棄時の情報漏洩を防止するご提案を行っております。



MagWiper



StorageCrusher

健康志向に応える商品づくりで社会貢献

チルド麺市場初！※ 機能性表示食品の開発

近年、生活習慣病患者数の増加や、平均寿命と健康寿命の差、国民医療費の増大などが社会問題となっており、シマダヤは、「美味しく食べて健やかな食生活をサポートします」をコンセプトに健康志向に応える商品づくりに取り組んでいます。

2020年3月期は生活習慣病の予防や健康を気にする生活者の方に向けて家庭用・業務用共通の新ブランド「健美麺」を立ち上げました。食後の血糖値の上昇を抑える機能性表示食品「健美麺」と、糖質や塩分をカットしたウェルネス「健美麺」で展開しています。特に機能性表示食品「健美麺」は従来の麺と変わらない美味しさで、食後の血糖値上昇を抑えることができ、血糖値が気になる方も安心して召し上がっていただけます。

※2019年5月時点、弊社調べ



健美麺

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2020年 3月31日現在	2019年 3月31日現在
① 資産の部		
流動資産	60,697	67,229
固定資産	18,173	21,446
有形固定資産	12,452	14,264
無形固定資産	981	1,068
投資その他の資産	4,738	6,113
資産合計	78,870	88,675
② 負債の部		
流動負債	25,408	28,510
固定負債	5,201	5,397
負債合計	30,609	33,907
③ 純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,404	4,411
利益剰余金	59,495	57,441
自己株式	△16,192	△7,973
株主資本合計	48,706	54,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	146
繰延ヘッジ損益	10	28
為替換算調整勘定	△239	△160
退職給付に係る調整累計額	△291	△144
その他の包括利益累計額合計	△465	△130
新株予約権	19	19
純資産合計	48,260	54,767
負債純資産合計	78,870	88,675

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 資産の部

総資産は788億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億5百万円減少しました。流動資産は606億97百万円となり、65億32百万円減少しました。これは主に、有価証券の減少124億円、現金及び預金の増加34億28百万円、商品及び製品の増加13億48百万円、原材料及び貯蔵品の増加12億76百万円によるものです。固定資産は181億73百万円となり、32億72百万円減少しました。これは主に、有形固定資産の減少18億11百万円、投資その他の資産の減少13億74百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は306億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億98百万円減少しました。流動負債は254億8百万円となり、31億2百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少50億円、未払費用の減少3億57百万円、支払手形及び買掛金の増加19億13百万円、未払金の増加4億21百万円によるものです。固定負債は52億1百万円となり、1億95百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少8億99百万円、退職給付に係る負債の増加1億73百万円、その他固定負債の増加4億92百万円によるものです。

③ 純資産の部

純資産合計は482億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億7百万円減少しました。これは主に、自己株式の取得による減少82億19百万円、退職給付に係る調整累計額の減少1億46百万円、利益剰余金の増加20億54百万円によるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自 2019年 4月 1 日 至 2020年 3月31日	自 2018年 4月 1 日 至 2019年 3月31日
売上高	114,888	108,993
売上原価	86,943	80,239
販売費及び一般管理費	23,807	22,794
営業利益	4,137	5,959
営業外収益	971	1,083
営業外費用	194	522
経常利益	4,914	6,520
特別利益	594	249
特別損失	946	1,029
税金等調整前当期純利益	4,563	5,741
法人税、住民税及び事業税	1,338	1,692
法人税等調整額	85	245
親会社株主に帰属する当期純利益	3,139	3,802

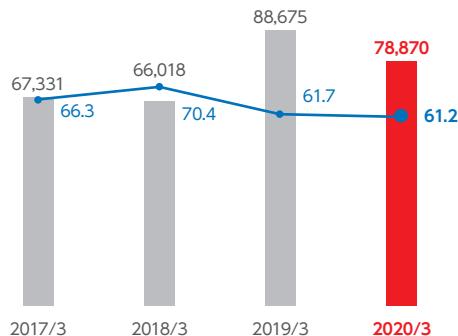
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自 2019年 4月 1 日 至 2020年 3月31日	自 2018年 4月 1 日 至 2019年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	6,549	5,577
投資活動による キャッシュ・フロー	12,257	△2,083
財務活動による キャッシュ・フロー	△15,469	△710
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△10	△24
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	3,327	2,758
現金及び現金同等物の 期首残高	7,117	4,344
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	13
現金及び現金同等物の 期末残高	10,444	7,117

総資産 (単位：百万円)

自己資本比率 (単位：%)



- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. (ご参考) 2018年3月期に記載の金額は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を遡及して適用した金額を表示しております。

詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

melco-hd.jp/ir/top

国内

株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.	役員 (2020年6月30日現在)	
設立	1986年 (昭和61年) 7月1日	代表取締役社長	牧 寛之 常勤監査役 續木 政直
資本金	10億円	取締役副社長	松尾 民男 常勤監査役 井上 武彦
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、 経営指導を通じて統括管理を行う	取締役	木下 紀夫 監査役 植田 和男
従業員数	32名、メルコグループ連結1,800名	取締役	津坂 巖 監査役 柴垣 信二
グループ企業	会社数22社 (国内17社、海外5社)	取締役	中村 規脩 監査役 北村 雅史
		取締役	福原 賢一
		取締役	平田 一郎

株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.	役員 (2020年6月30日現在)	
創業	1975年 (昭和50年) 5月1日	代表取締役社長	牧 寛之 取締役 牧 大介
設立	1978年 (昭和53年) 8月5日	常務取締役	渡邊 泰治 取締役 横井 一紀
資本金	3億200万円	常務取締役	和田 学 取締役 西脇 孝志
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売 及びデータ復旧サービス	取締役	吉崎 良助 取締役 岩崎 克己
従業員数	525名	取締役	石丸 正弥 取締役 稲葉 里始
		取締役	矢野 学 監査役 續木 政直

シマダヤ株式会社

商号	シマダヤ株式会社 (英文社名) Shimadaya Corporation	役員 (2020年6月30日現在)	
創業	1931年 (昭和 6年) 7月20日	代表取締役社長	木下 紀夫 取締役 杉山 龍太
設立	1949年 (昭和24年) 3月4日	専務取締役	相馬 紳一郎 取締役 松尾 民男
資本金	10億円	常務取締役	小原 伸之 監査役 新井 満
事業内容	麺類及び関連食料品の製造及び販売	常務取締役	岩田 功 監査役 加藤 優
従業員数	322名	常務取締役	岡田 賢二

シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・保守

アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

株式会社デジオン

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売

メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

海外

〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈欧州〉 BUFFALO EU B.V.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

部材の調達・管理

〈シンガポール〉 Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

(2020年3月31日現在)

株式の状況

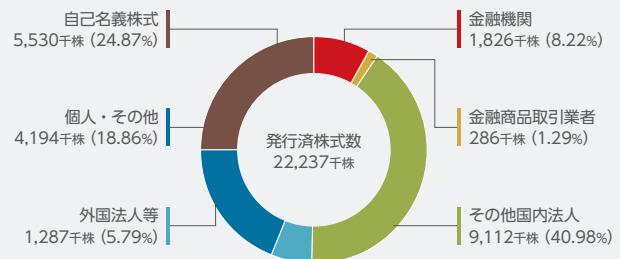
発行済株式数 22,237,873株 (自己株式5,530,065株含む)
株主数 4,558名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マキス	8,390	50.22(37.73)
牧 寛之	617	3.70(2.78)
牧 大介	617	3.70(2.78)
株式会社名古屋銀行	501	3.00(2.26)
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.99(2.25)
岡 秀朋	425	2.55(1.92)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	400	2.40(1.80)
牧 順	354	2.12(1.59)
GOVERNMENT OF NORWAY	271	1.63(1.22)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	214	1.29(0.97)

- (注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。なお、() 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

所有者別分布状況



- (注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 https://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

東京本社	〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 TEL. 03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123
名古屋本社	〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

表紙写真

1995年/台湾・巴比祿股份有限公司の開所式にて。
左から二番目が牧 誠氏(当時47歳)、四番目が斉木 邦明氏(当時47歳)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



<https://melco-hd.jp>

株式会社バッファロー

製品やサービスの情報や活用事例及びサポート情報を提供しております。



<https://www.buffalo.jp>

シマダヤ株式会社

お奨めレシピや商品に関するさまざまな情報を紹介しております。



<https://www.shimadaya.co.jp>